学校番号	1007

令和　8　年度　　情報 科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　情報Ⅰ Next（数研出版）						
副教材等	高等学校　情報Ⅰ Next サポートノート（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報Ⅰでは、「情報社会の問題解決」、「コミュニケーションと情報デザイン」、「コンピュータとプログラミング」、「情報通信ネットワークとデータの活用」というテーマを学びます。みなさんにとって身近な教科として、様々な題材に対して、積極的に問題解決に取り組んでほしいと思います。

２　学習の到達目標

(1)効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め、技能を習得するとともに、情報社会と人との関りについて理解を深める。
(2)様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付ける。
(3)情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人との関りについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関りについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	情報社会の問題解決	情報メディア 情報社会における法とセキュリティ 情報社会が社会に及ぼす影響	a:情報メディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けている。 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している。 情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。 b:目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法をについて考えている。 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察している。 c:情報社会の問題を発見することを通して、より広く深い学びに取り組み、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。 情報社会の問題解決を通して、望ましい情報社会の構築に寄与しようとしている。	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 自己評価／相互評価　など 発表　など
2学期	コミュニケーションと情報デザイン	情報のデジタル表現 コミュニケーション手段の発展と特徴 情報デザイン プレゼンテーション	a:メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解している。 情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解している。 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解するとともに、表現する技術を身に付けている。 b:メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考えている。 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善することができる。 c:コミュニケーションと情報デザインが情報社会に果たす役割について考えながら情報と情報技術を活用し、施行錯誤して効果的なコミュニケーションを行おうとしている。 よりよいコミュニケーションを行うために自らの取り組みを振り返り、評価し、改善することを通して情報社会に主体的に参画しようとしている。	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 自己評価／相互評価　など 発表　など

2学期	コンピュータとプログラム	コンピュータのしくみ プログラミング モデル化とシミュレーション	a:コンピュータや外部装置の仕組みや徳亮、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解している。 アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し、技能を身に付けている。 b:コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察している。 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善することができる。 目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考えている。 c:問題解決にコンピュータを積極的に活用し、自ら結果を振り返って改善しようとしている。 生活の中で使われているプログラムを見出して改善しようとすることなどを通じて情報社会に主体的に参画しようとしている。	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 自己評価／ 相互評価　など 発表　など
3学期	情報通信ネットワークとデータの活用	ネットワークのしくみ データベース データ分析	a:情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解している。 データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解している。 データを表現、改善するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法につい理解し技能を身に付けている。 b:目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えている。 情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えている。 データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善することができる。 c:情報システムにより提供されるサービスや情報通信ネットワークを目的に応じて、適切かつ効果的に活用しようとしている。 データを粘り強く多面的に精査し、データに含まれる傾向を自己調整しながら見出そうとしている。 情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画している。	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 自己評価／ 相互評価　など 発表　など